

## 「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）」（案）の概要

### 1 計画策定の経緯

令和元年	7月10日	徳島県環境審議会に諮問 気候変動部会に付議
	12月6日	部会小委員会で審議
	12月9日	県議会11月定例会（総務委員会）で素案報告
	12月16日	県議会11月定例会（環境対策特別委員会）で素案報告
	12月17日	パブリックコメント実施（1月10日まで）
令和2年	1月31日	環境審議会気候変動部会で計画（案）を審議

### 2 計画策定の趣旨

パリ協定、SDGs採択後の「世界の潮流」や、国の長期戦略の策定などを踏まえ、「環境首都とくしま」として、「脱炭素社会」の実現に向けた気候変動対策を牽引するため、新たな計画を策定

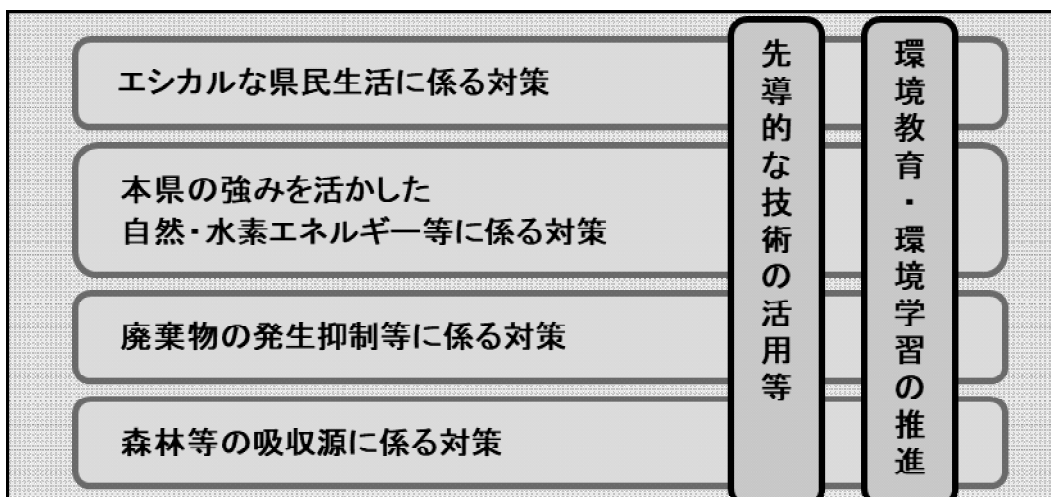
### 3 計画期間

令和2（2020）年度から令和5（2023）年度までの4年間

### 4 新たな計画の特徴

- 長期目標「2050年度 実質ゼロ」の設定  
自然・水素エネルギーの導入を一層加速するとともに、イノベーションを率先実装し、野心的目標に挑戦
- 2030年度削減目標の上方修正（▲40%⇒▲50%）  
2016年度の削減実績（2013年度比▲26%）や、本県の強みである自然エネルギーの普及見通し等を踏まえ、国を上回る目標値を更に引上げ
- 「環境と経済の好循環」を施策推進の「基本方針」に位置づけ

#### <施策体系>



重点施策

1 エシカルな県民生活に係る対策

- (1) **ビジネススタイルの変革促進**(排出削減に対するインセンティブ付与、エコパートナー協定拡大等)
- (2) **エシカル消費の普及**を通じたライフスタイルの転換促進(消費者庁新未来創造戦略本部との連携)
- (3) **環境配慮型産業の推進**(LED道路照明灯の設置、スマート農林水産業の推進等)
- (4) **持続可能な市街地形成促進**(歩いて暮らせるまちづくり、「自転車王国とくしま」の推進)

●数値目標【LED応用製品開発支援件数(累計)】

【2017】168件 ⇒ 【2023】320件



2 本県の強みを活かした自然・水素エネルギー等に係る対策

- (1) **自然エネルギーの活用**(2030年自然エネルギー電力自給率50%)
- (2) **水素グリッド構想の推進**(水素モビリティの導入促進、水素供給拠点整備等)
- (3) **エネルギー地産地消の推進**

●数値目標【自然エネルギー電力自給率】

【2017】26.7% ⇒ 【2023】31.8%



3 廃棄物の発生抑制等に係る対策

- (1) **3Rの総合的な取組の推進**(認定リサイクル製品や3Rモデル事業所の普及拡大等)
- (2) **食品ロス削減の加速**(ICTを活用したフードバンクとくしまモデルの構築等)
- (3) **プラごみ対策の推進**(プラごみ削減協力店制度の創設、代替素材の利活用促進等)

●数値目標【リサイクル製品の認定数】

【2017】50製品 ⇒ 【2023】62製品



4 森林等の吸収源に係る対策

- (1) **スマート林業プロジェクトの推進**(伐採から再生林・保育の森林サイクルの確立)
- (2) **カーボンオフセットの深化、拡大**(オフセットイベントの開催支援等)

●数値目標【県産材の生産量】

【2017】37.5万m<sup>3</sup> ⇒ 【2023】58万m<sup>3</sup>



横断的施策

I 未来を支える先導的な技術の活用等

- (1) **グリーンファイナンスの推進**(「徳島版ESG地域金融活用協議会」の創設等)
- (2) **イノベーションの推進**(革新的省エネ技術、CO2回収・貯留、AI・IoTの活用等)
- (3) **排出削減につながる仕組み**(炭素価格付け、RE100、SBT)の活用

●数値目標【ESG金融活用制度(仮称)による支援件数(累計)】

【2017】0件 ⇒ 【2023】50件



II 環境教育・環境学習の推進

- (1) 「**エコみらいとくしま**」を核とした**環境教育・学習機会の創出**
- (2) **ライフステージに応じた環境教育の体系化**(ESD推進、エシカルクラブの全県展開等)

●数値目標【とくしま環境学講座及び親子環境学習教室受講者数(累計)】

【2017】2,749人 ⇒ 【2023】10,300人



※太字・下線については、重点的に取り組む事項